



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4602		
科目名	コーチング統合演習Ⅱ		
担当教員	益子 俊志		
対象学年	4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 4		
講義室	1206	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード：学修のゴールを示すディプロマポリシー（DP）との関連 DP3－G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する 集団の内外の状況を的確に把握し、適切に 対応することができる。 DP3－H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排 除するための内省をもって、問題・課題を 合理的に解決することができる。 DP4－F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する 答・結論・判断を合理的に導くために、 論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな 問題・課題に答える ための方略をデザインし、検証し実行する ことができる。 DP4－I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、 情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効 かつ円滑に行い、課題の解決につなげるこ とができる。 DP5－J〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続し て行うこと を、自らの思考及び行動のパ ターンとするとともに、既存のアイデアを 革新的かつ創造的に 統合し、リスクをとり ながら、結果に結び付けることができる。 ■CRコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモングループリック（CR）との関連 G1 状況把握（40％） F1 探求と論拠（20％） F2 課題解決（20％） H1 論理的思考（5％） H2 批判的思考（5％） I1 理解分析と読解（5％） J1 継続的学修基盤（5％）		
教員の実務経験	大学、社会人チームにラグビーを指導してきました。この経験を活かして、演習を行います。（第2回～第13回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	コーチング学研究法演習、コーチング基礎演習Ⅰ・Ⅱ、コーチング実践演習Ⅰ・Ⅱの成果を踏まえ、自分の専門種目について、コーチング活動の全体についてのまとめを行うとともに他種目との相違を考慮しながら、コーチング一般についても比較検討を行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：指導現場、コーチング		
授業の趣旨	■副題 実際の指導現場で必要なコーチング能力について、具体的な例を提示しながら他種目と比較検討し、自身の考えをまとめ、発表・討論します。		

	■授業の目的 指導現場に必要な能力について、自身の考えをまとめ、発表・討論し、他種目の指導現場で必要な能力と比較検討することで、問題に対する解決方法を提示する能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント スポーツ現場において、競技力向上を図るためには、コーチング能力の向上が必要不可欠です。本授業ではコーチング演習の総括として、指導方法のみならず、コーチに必要な統率力、組織づくりも学びます。現代のコーチングの実例を持ち寄り、建設的な議論をすることで、より良い組織を作ることのできるコーチとなるために必要な能力を検討します。										
総合到達目標	■現代に即したコーチングを実践できるようになるために、コーチに必要な統率力、組織づくり能力を修得する。 ・コーチに必要な能力について列挙し、各能力について説明することができる（第2回、第9回～第12回、第14回～第15回） ・コーチングの変遷、及び現代のコーチングの特徴を論理的に説明することができる（第3回～第4回） ・チームの分析、及びミーティングによる効果を論理的に説明することができる（第5回～第6回） ・スポーツにおけるインテグリティやガバナンスについて論理的に説明することができる（第7回～第8回） ・コーチング現場で起こりやすい問題と未然に防ぐ方法について論理的に説明することができる（第13回）										
成績評価方法	■レポート1回（40%）：適用ループリック H1・I1・J1・J2 （評価の観点）授業の内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せるかを評価します。（フィードバックの方法）授業時間中に解説を行います。 ■リアクションシート（60%）：適用ループリック G1・F2 （評価の観点）授業内で実施する授業シート、及びリアクションシートの内容により授業内容を把握し、建設的な議論ができているかを評価します。（フィードバックの方法）授業時間中に解説を行います。										
履修条件	「コーチング基礎演習Ⅰ」「コーチング基礎演習Ⅱ」「コーチング実践演習Ⅰ」「コーチング実践演習Ⅱ」「コーチング統合演習Ⅰ」を履修していること。										
履修上の注意点	特にありません。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業のテーマ、内容、スケジュール、評価方法について説明の上、コーチングに関する問題の例を挙げて授業の準備を行う（G1）。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、授業展開に備える。 ④復習（120分） 指導現場でのコーチングに関する問題を選手の立場から考える。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 良いコーチとは ②授業概要 コーチング演習Ⅰ～Ⅴの授業内容を受け、コーチに必要な能力について発表することができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） これまでの授業内容をまとめ、良いコーチとは何かを考えてくる。 ④復習（120分） 発表内容を踏まえ、コーチとして必要な能力をまとめておく。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ コーチング方法の変遷について ②授業概要 過去から現代にわたって変化してきたコーチング方法を共有し、発表できる。また、発表内容から今後のコーチに求められる能力を列挙し、説明できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） コーチング方法の変遷について、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにしておく。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 現代のコーチングについて ②授業概要 選手の良いパフォーマンスを引き出すことのできている現代のコーチについて、コーチング方法を調べ、共有できる。特に種目によるコーチング方法の違いを認識し、発表できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） 現代の良いコーチのコーチングスタイルを、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにし、今後のコーチが必要な能力を列挙しておく。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業のテーマ、内容、スケジュール、評価方法について説明の上、コーチングに関する問題の例を挙げて授業の準備を行う（G1）。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、授業展開に備える。 ④復習（120分） 指導現場でのコーチングに関する問題を選手の立場から考える。	2	①授業テーマ 良いコーチとは ②授業概要 コーチング演習Ⅰ～Ⅴの授業内容を受け、コーチに必要な能力について発表することができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） これまでの授業内容をまとめ、良いコーチとは何かを考えてくる。 ④復習（120分） 発表内容を踏まえ、コーチとして必要な能力をまとめておく。	3	①授業テーマ コーチング方法の変遷について ②授業概要 過去から現代にわたって変化してきたコーチング方法を共有し、発表できる。また、発表内容から今後のコーチに求められる能力を列挙し、説明できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） コーチング方法の変遷について、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにしておく。	4	①授業テーマ 現代のコーチングについて ②授業概要 選手の良いパフォーマンスを引き出すことのできている現代のコーチについて、コーチング方法を調べ、共有できる。特に種目によるコーチング方法の違いを認識し、発表できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） 現代の良いコーチのコーチングスタイルを、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにし、今後のコーチが必要な能力を列挙しておく。
回	内容										
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業のテーマ、内容、スケジュール、評価方法について説明の上、コーチングに関する問題の例を挙げて授業の準備を行う（G1）。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、授業展開に備える。 ④復習（120分） 指導現場でのコーチングに関する問題を選手の立場から考える。										
2	①授業テーマ 良いコーチとは ②授業概要 コーチング演習Ⅰ～Ⅴの授業内容を受け、コーチに必要な能力について発表することができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） これまでの授業内容をまとめ、良いコーチとは何かを考えてくる。 ④復習（120分） 発表内容を踏まえ、コーチとして必要な能力をまとめておく。										
3	①授業テーマ コーチング方法の変遷について ②授業概要 過去から現代にわたって変化してきたコーチング方法を共有し、発表できる。また、発表内容から今後のコーチに求められる能力を列挙し、説明できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） コーチング方法の変遷について、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにしておく。										
4	①授業テーマ 現代のコーチングについて ②授業概要 選手の良いパフォーマンスを引き出すことのできている現代のコーチについて、コーチング方法を調べ、共有できる。特に種目によるコーチング方法の違いを認識し、発表できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） 現代の良いコーチのコーチングスタイルを、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにし、今後のコーチが必要な能力を列挙しておく。										

5	①授業テーマ チームの分析について ②授業概要 コーチとして必要なチームマネジメント能力を養うのにあたり、必要なチームの分析方法を学ぶ。その上で、コーチがどのような組織づくりをしていくべきか、自身の考えを論理的にまとめ、共有できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） 現代の良いコーチのコーチングスタイルを、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにし、今後のコーチが必要な能力を列挙しておく。
6	①授業テーマ チームのミーティングの方法について ②授業概要 コーチとして必要なチームマネジメント能力に関して、特にチームでのミーティング方法を共有し、種目間の異なりを論理的に発表できる。また、発表内容から指導現場でのミーティング方法の相違点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） 種目によるチームのミーティング方法の相違について、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにし、今後のミーティングの在り方を列挙しておく。
7	①授業テーマ コーチング現場に必要なインテグリティについて ②授業概要 コーチング現場で必要であると言われているインテグリティに関して、論理的に説明ができる。また、自身のチームにおけるインテグリティ維持のために行っていることを共有し、種目間の異なりを論理的に発表できる。また、発表内容から指導現場での相違点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） インテグリティの意味について調べ、自身のチームがインテグリティを保つために行っていることを、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにし、今後の指導者の在り方を列挙しておく。
8	①授業テーマ コーチング現場に必要なガバナンスについて ②授業概要 組織を統括する上で重要となるガバナンスについて、論理的に説明ができる。また、自身のチームが行っているガバナンス方法を共有し、種目間の異なりを論理的に発表できる。また、発表内容から指導現場での相違点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） ガバナンスの意味について調べ、自身のチームが行っているガバナンス方法を、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について説明できるようにし、今後のガバナンス方法の在り方を列挙しておく。
9	①授業テーマ 種目の違いによるコーチに必要なコミュニケーション能力とは ②授業概要 コーチとして必要なコミュニケーション能力について、実際に実行できているコーチングの状況を共有し、種目間の異なりを論理的に発表できる。また、発表内容からコーチとして必要なコミュニケーション能力の相違点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） 種目によるコーチのコミュニケーション能力の相違について、実施できいるコーチを本などで調べ、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について、相違点を説明できるようにしておく。
10	①授業テーマ 種目の違いによるコーチに必要な分析能力とは ②授業概要 コーチとして必要な分析能力について、実際に実行できているコーチングの状況を共有し、種目間の異なりを論理的に発表できる。また、発表内容からコーチとして必要な分析能力の相違点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介しします。 ③予習（120分） 種目によるコーチの分析能力の相違について、実施できいるコーチを本などで調べ、列挙しておく。 ④復習（120分） 授業内で発表された内容について、相違点を説明できるようにしておく。
11	①授業テーマ 種目の違いによるコーチに必要なチームマネジメント能力とは ②授業概要 コーチとして必要なチームマネジメント能力について、実際に実行できているコーチングの状況を共有し、種目間の異なりを論理的に発表できる。また、発表内容からコーチとして必要なチームマネジメント能力の相違点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に

	関する実例を紹介します。 ③予習（１２０分） 種目によるコーチのチームマネジメント能力の相違について、実施できているコーチを本などで調べ、列挙しておく。 ④復習（１２０分） 授業内で発表された内容について、相違点を説明できるようにしておく。
12	①授業テーマ 種目の違いによるコーチに必要な創意工夫能力とは ②授業概要 コーチとして必要な創意工夫能力について、実際に実行できているコーチングの状況を共有し、種目間の異なりを論理的に発表できる。また、発表内容からコーチとして必要な創意工夫能力の相違点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介します。 ③予習（１２０分） 種目によるコーチの創意工夫能力の相違について、実施できているコーチを本などで調べ、列挙しておく。 ④復習（１２０分） 授業内で発表された内容について、相違点を説明できるようにしておく。
13	①授業テーマ 種目の違いによる指導現場で起きやすい問題とは ②授業概要 種目の違いによる指導現場で起きやすい問題を共有し、種目間の異なりを論理的に発表できる。また、発表内容からコーチとして指導現場で起きやすい問題を未然に防ぐために必要な能力の相違点を探し、列挙できる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。担当教員の実務経験を踏まえて、発表内容に関する実例を紹介します。 ③予習（１２０分） 種目による指導現場で起きやすい問題の相違について、列挙しておく。 ④復習（１２０分） 授業内で発表された内容について、相違点を説明できるようにしておく。
14	①授業テーマ コーチング現場で求められる能力について分類分け ②授業概要 これまでの授業内容を受け、種目によるコーチングの相違点をレポートにまとめることができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。フィードバックはレポート提出後、授業時間内に行います。 ③予習（１２０分） これまでの授業内容をまとめ、良いコーチとは何かを考えてくる。 ④復習（１２０分） レポート内容を踏まえ、コーチとして必要な能力をまとめておく。
15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 コーチングに必要な能力や、その能力が欠如することでおきる課題をまとめることができる（G1・F1・F2・H1・H2・I1・J1）。 ③予習（１２０分） これまでの授業内容をまとめておく。 ④復習（１２０分） コーチとして必要な能力をまとめておく。
関連科目	コーチング統合演習Ⅰ（SSCS4601S）
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	特にありません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 水曜日昼休みに対応します。 それ以外の時間でも結構です。事前に連絡ください。
研究比率	

